

平成27年度 第1回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：平成27年6月30日（火）18：45～20：15

場所：市役所 第2委員会室

出席者：佐々木(重)会長、山崎委員、永田委員、熊谷委員、佐々木(祥)委員、細川委員、
西塚委員、森下委員、吉川委員

佐藤行財政改革推進本部本部長、総務部長、財政課長、人事課長、事務局

欠席者：木下(隆)委員、中島委員、木下(秀)、中島(た)委員

1 開会（菅沼総務部長）

2 あいさつ

（佐藤本部長）

- ・本年度もそれぞれの立場でご協力いただくことについて感謝します。
昨年度は公共施設マネジメント基本方針について、年間を通じ委員の皆さんに協議検討いただきまとめることができた。平成27年度は具体的な施設を取り上げ検討に入りたい。総論賛成、各論反対で難しい検討となると思われるが、人口減少や施設改修経費の増加などの状況の中でしっかりと議論し実施したい。
- ・ふるさと納税については、収入確保や飯田市のPRも目的としており、積極的に取り組む考えでいる。本日は今年度の取り組みや飯田市の考え方について報告させていただく。
- ・本年もよろしくお願ひしたい。

（佐々木会長）

- ・平成26年度は行財政改革プランの推進状況のほか、「公共施設マネジメント基本方針」について諮問を受け、1年間の検討テーマとして積極的に議論し勉強会も開催した。最終的には答申内容も考慮され、良い基本方針が策定されたと思う。今年度もご協力をお願いしたい。本日はふるさと納税についても報告があるのでよろしくお願ひしたい。

3 自己紹介

- ・行財政改革推進委員、事務局

4 協議事項

(1) 平成27年度指定管理期間終了施設の実績評価及び今後の方針について

①飯田市の指定管理者制度について、資料NO.1の資料内容を説明（財政課長）

- ・質疑等なし。

②指定管理施設実績評価票及び運営方針について

- ・担当より説明（環境モデル都市推進課、生涯学習スポーツ課、長寿支援課、農業課、観光課）
（吉川委員）

- ・上村大島河原公園と大平公園について、管理人の人件費を大島河原公園に全額計上したとの説明であるが、大島河原公園は約140万円の赤字、大平公園は約100万円の黒字となっている。せっかく施設毎に収支を示しており、案分で良いので人件費を両施設に費用計上し経営実態を示したほうが誤解を生じないと考える。按分が出来ない理由があるのか。

→基本的には指定管理者からの報告書をまとめている。勤務時間など按分できる資料があるので、指定管理者と相談して対応したい。（観光課）

（佐々木会長）

- ・個々の支出状況について、類似施設でも指定管理料の発生するものしないものがある。指定管理料の算定時に各担当部署で再度検討をしてほしい。
- ・上村振興公社への指定管理は今後4年間で見直すとしているが、民営化など譲渡を含めた検討を行い、十分運営できると判断されたものは随時進めてほしい。検討は早く実施も早くしてほしい。

（熊谷委員）

- ・今回報告された実績評価の収支についてはマイナスが多く目立つ。飯田市からの委託料も含めて運営しているため、黒字化に向けて節電や節水など小さな取り組みも必要である。積極的なサービス提供や運営に際しては更なる工夫が必要で、指定管理者の管理意識の改善も必要である。全体的に指定管理料による飯田市の負担も大きいので、民営化するなどの取捨選択が必要である。
- 旧村時代から地域活性化や地域振興のために建設した施設であり、村民が中心となって運営してきた経過がある。現在は(株)上村振興公社が中心で運営している。今後は施設のあり方も含めて早い段階で検討を進めていきたい。（観光課）

- (株)上村振興公社については経営が厳しい状況である。市の財政負担も大きいためマネジメント基本方針に従い方向性や施設のあり方、民営化も視野に入れ早期に検討したい。指定管理料は内容についてチェックしているが、必要により見直しを実施したい。方向性が決定すれば4年を待たずに進めてまいりたい。（菅沼総務部長）

（佐々木委員）

- ・上村施設の経営については、天候などに影響される場合も多いと思う。施設単独でなく、それぞれの施設を連携させ、遠山郷全体として考え集客する必要がある。
- 今までは個々の対応であったが、遠山郷が総合的に連携できるよう取り組んでまいりたい。今年度は和歌山大学と連携し、地域振興について地域の皆さんと事業を行う。全体で協力しながら取り組んでまいりたい。（観光課）

（熊谷委員）

- ・バスツアーなど遠山郷全体をアピールする取り組みを提案したい。
- 日帰り通過型が多いのが現状。具体的な取り組みは遠山郷観光協会が主体となり地域情報発信している。関係機関と協力しながら考えていきたい。（観光課）

（佐々木会長）

- ・平成27年度指定管理終了施設の実績評価及び今後の方針について、行革推進委員会として了承とする。

5 報告事項

(1)平成27年度公共施設マネジメントの取り組み内容について（説明：財政課長）
（佐々木会長）

- ・内容は了承した。今後は行財政改革推進委員会における報告の中で検討したい。

(2)飯田市のふるさと納税の対応について（説明：企画課長補佐）
（吉川委員）

- ・ふるさと飯田応援隊は市外からの寄附と理解している。一方で地区のセンター建設に対して市民による寄附が平成23年から行われている。同じふるさと納税としてこれらの金額も含めた寄付金のトータル金額はデータとしてあるか。全ての寄付金の額を掲載することにより外部に対しインパクトがあるのでは。
- 企画課が扱っている寄付金を記してある。市民からの寄付は別扱いとしている。（企画課）
- ・他の委員会から次のような意見があった。菱田春草の収蔵については、予算措置がなく必要な時に予算化される。目的を持った寄附の取り組みについての計画があるか。
- 美術品については購入基金として確保してある。ふるさと納税についてはこれまで、特定事業を行っていなかったが今後は検討してまいりたい。（企画課）

（山崎委員）

- ・H26年度は寄付金の活用については4つの事業について330万円が充てられている。
 - ・歳入確保分の留保分5割程度については一般財源か特定財源のどちらの扱いか。
- （総務部長）
- 特定財源として確保し共感できる事業の推進に充てていく。目的の事業を選択して活用していく。

（佐々木会長）

- ・ふるさと納税については他市町村の先進事例を研究することが必要と感じる。
- ・物語を作り外部から人が飯田市に来てくれるような工夫をしてほしい。リニアに絡み、今の課題、将来の課題を含めた飯田市に納税したい気持ちになってもらえるように工夫をされたい。
- ・ふるさと納税については行革推進委員会として注目したい。その都度報告願いたい。

6 その他

①議事録の作成及び公開について（説明：事務局）

→意見なし。ホームページで公開する。了承。

②次回開催予定

日時 8月28日（金）18：30～、会場 第2委員会室

内容 飯田市行財政改革大綱における改革プラン、公共施設マネジメント

7 閉会